

学校教育目標	自分を大切に まわりを大切にできる わくわく ほかほか があふれる東野小にしよう	経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 大崎上島の招待を担う 大崎上島を愛し、地域貢献する子供を育てる。 【ビジョン】「生きる力」の育成(子供の自立・未来)のために、子供と地域のひと、もの、ことをつなぎ、地域とともに学校を創る 【ポリシー】安心があふれ、自信の育つ学校づくり (心理的安全性の確保 自己肯定感の育成 メタ認知能力の育成)
--------	---	--------------------	---

評価計画							自己評価				学校関係者評価	改善方策 今後に向けて
	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標値	担当	達成値	達成度	評価	結果と課題の分析	コメント	
確かな学力	資質・能力の育成 ・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力等 ・学びに向かう力、人間性等 子どもの「学ぶ意欲(わくわく)」を高めるとともに「確かな学力」を育成する	☆授業のイノベーション ☆カリキュラムデザイン 【授業改善】 ①子どもの主体的な学びの機会をマネジメント 【自己調整学習能力】 ②児童が主体的・協働的に学ぶ授業風景 【ことばの力】 ③表現力の育成	○選択・自己決定の場があり、児童自身が学びのコントロールができるような機会をつくる 【機会 スキル 雰囲気】 ・自由進度学習の推進(学びのコントロール) ・ふりかえりを重視(メタ認知) ・家庭学習の仕方の工夫(めあて、選択、自己決定) ・授業ガイドシート等の活用 ・ICTの活用(eライブラリ等) ・ロイロノートの活用 ・読書・音読の推進(キャンペーンの実施) ・家庭での音読、読書の実施 ・授業、帯タイムでの音読、暗唱の実施	①授業改善 ・自由進度学習の実践 ②児童のふりかえり ・「わくほかチェックシート」でできた日数 ・「わくわく進んで勉強できた」 ②児童アンケート ・「自分たちで授業を進めることができた」 ③児童アンケート ・「自分の意見を言うことができた」 ・「相手の話をよく聞いている」	①学期に1単元は実施 ②80% ③80%	教務研究						
豊かな心	地域や学校で周りの人とかわり合うことを通して、自他を大切にできる心、故郷を愛する心、自信、思いやりや感謝の心を育てる	【自己肯定感】 ①自己肯定感を高める 【考動力】 ②自他を大切にしようとする心情や態度の育成 ③自分で考え、よりよく行動する力の育成	○道徳教育の充実 ・道徳の時間の授業改善(Do talk) ・道徳教育プログラム(他教科、行事、特別活動との連動) ・メタ認知(ふりかえりの充実) ・道徳的な環境整備(ナッジ理論) ・日記指導 ・生活4項目(感謝、挨拶、返事、靴そろえ)の評価の工夫 ・「ほかほかの木」の取組 ・「わくわくの種」の取組 ・学校応援隊の活用	①児童アンケート ・「自分のことが好きである」 ・「自分にはいいところがある」 ・「自分はまわりの人から大切にされている」 ②児童アンケート ・「まわりの人の気持ちを考えて行動できた」 ・「きまりを守っている」 ③児童のふりかえり ・「わくほかチェックシート」でできた日数 ・「わくわく進んで行動できた」	①90% ②80% ③80%	教務研究						
健やかな体	食育、健康教育、体力づくりを推進し、自己管理能力を高める	【自己管理能力】 健康について自己管理できる児童の育成	○健康教育の推進(家庭連携) ・家庭での時間の使い方 ・健康に関心を持つための発信 ・生活頑張りカードの実施 ・食育、給食指導の充実 ○目的を明確に、適切な目標を設定した体育的活動	○生活がんばりカード等 ・早寝(各学年の目標の時間までに寝ること)ができた児童の割合 ※平日5日間	70%	生徒指導						
信頼される学校	地域、保護者と双方向のつながりを持ち、同じベクトルで学校づくりを推進する	【地域とともに学校を創る】 学校・家庭・地域のつながりを深める情報発信を行い、説明責任を果たすとともに、協力を得る	○学校の取組を分かりやすく伝える情報発信を行い、理解と協力を得る ・sigfyによる細かな連絡 ・学校からの情報発信 ・PTA役員会 ・参観日、懇談会 ・行事 ・HP、メール、学校通信等	○保護者アンケート ・学校からの情報発信について	95%	教頭						

本年度の重点目標については◎印で示す。

【自己評価 評価】
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60